

エボラウイルス感染症(EVD)の 世界的流行と産業安全保健の役割 -リベリアでの経験から-

日時 : 2015年4月16日(木) 18:30~20:00
場所 : 帝京大学 板橋キャンパス 大学棟1階105号室
参加費 : 無料(事前申し込み不要)

2013年末に始まった西アフリカ地域でのエボラウイルス感染症(EVD)の流行は、地域へ甚大な被害をもたらし、EVD患者の治療や流行国の保健システムの復旧・強化支援にあたった医療従事者や支援者の安全と健康確保にも大きな関心が寄せられました。

吉川徹先生は日本国政府より2014年11月19日から2015年3月1日までリベリアに派遣され、世界保健機関(WHO)リベリア労働安全衛生コーディネーターとして約3ヶ月にわたり現地で対応にあたられました。現地での活動の様子や教訓などを報告していただきます。



講師: 吉川徹先生

- ・医師
- ・労働科学研究所 副所長
- ・帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 客員准教授
- ・元世界保健機関(WHO) リベリア労働安全衛生コーディネーター



お問い合わせ先: 帝京大学大学院
公衆衛生学研究科
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL.03-3964-1211 (内線: 46220 山本)

主催: 産業保健高度専門職養成の大学院プログラム
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科